

令和4年第2回定例会 一般会計予算・決算審査特別委員会（第2日目）
市民厚生分科会審査記録

- 1 日 時 令和4年6月16日（木） 午前10時44分
- 2 場 所 市役所 第一委員会室
- 3 議 題 議第77号 令和4年度村上市一般会計補正予算（第3号）
- 4 出席委員（9名）

1番	菅井晋一君	2番	富樫雅男君
3番	鈴木好彦君	4番	稲葉久美子君
5番	木村貞雄君	6番	鈴木一之君
7番	長谷川孝君	委員長	大滝国吉君
副委員長		小杉武仁君	
- 5 欠席委員
なし
- 6 傍聴議員（4名）

上村正朗君	高田晃君	河村幸雄君
渡辺昌君		
- 7 地方自治法第105条による出席者
議長 三田敏秋君
- 8 オブザーバーとして出席した者
なし
- 9 説明のため出席した者

副市長	忠聡君
税務課長	大滝慈光君
同課収納対策室長	東海林肇君
市民課長	板垣敏幸君
同課生活人権室長	前川龍也君
同課自治振興室長	佐藤克也君
環境課長	瀬賀豪君
保健医療課長	押切和美君
同課課長補佐	志田淳一君
同課国保室長	林洋一君
同課健康支援室長	船山幸文君
同課健康支援室主幹	田中加代子君
同課健康支援室副参事	齋藤健一君
介護高齢課長	大滝きくみ君
同課高齢者支援室長	川村勇治君
同課高齢者支援室副参事	渋谷直人君
同課地域包括支援センター長	五十嵐文君
同課介護保険室長	高橋洋一君
同課介護保険室副参事	近藤知子君
福祉課長	木村静子君
同課福祉政策室長	石田浩二君

こども課長	中村豊昭君
同課子育て政策室長	高橋朗君
同課子育て政策室係長	渡辺悟君
同課ことばとこころの相談室主幹	永田ルミ君
同課子育て支援室長	山田昌実君
同課子育て支援室主幹	板垣友紀君

10 議会事務局職員

局長	内山治夫
書記	菅井洋子

(午前10時44分)

特別委員長(大滝国吉君)開会を宣する。

○本日の審査は、一般会計予算・決算審査特別委員会に設置した市民厚生分科会の所管事務について審査を行うこととし、審査は常任委員会の審査の例により行い、分科会の会長には市民厚生常任委員長、副分科会長には市民厚生常任副委員長を充て議事運営を行うこととし、議事進行を市民厚生分科会長に願った。

分科会長(長谷川孝君)市民厚生分科会の開会を宣する。

○市民厚生分科会の審査については、分科会審査日程概要どおりに進むことに異議なく、そのように決定する。

日程第2 議第77号 令和4年度村上市一般会計補正予算(第3号)のうち市民厚生分科会所管分を議題とし、予算付託表記載順に担当課長(市民課長 板垣敏幸君、介護高齢課長 大滝きくみ君、福祉課長 木村静子君、こども課長 中村豊昭君、保健医療課長 押切和美君)から歳入の説明を受けた後、歳入についての質疑に入り、歳入についての質疑終了後、歳出についての説明を受けた後、歳出についての質疑に入る。

歳入

第15款 国庫支出金

(説明)

保健医療課長 それでは、8P、9Pを御覧ください。15款1項2目衛生費国庫負担金、説明欄1の新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金4,637万2,000円だが、こちらは4回目のワクチン接種費用の増加分として計上いたした。次の2項3目衛生費国庫補助金、説明欄1の母子保健衛生費国庫補助金66万円だが、3歳児健康診査の視覚検査で弱視の早期発見を目的として使用する屈折検査機器購入費に対する国庫補助金を計上いたした。補助率2分の1だ。説明欄2の新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金3,678万7,000円だが、こちらも4回目のワクチン接種費用の増加分として計上いたした。

第16款 県支出金

(説明)

保健医療課長 続いて、16款2項3目衛生費県補助金、説明欄1、母子保健対策強化事業補助金33万円だが、こちらも3歳児健診の視覚検査で使用する屈折検査機器購入費に対する県補助金を計上いたした。補助率は4分の1だ。

第21款 諸収入

(説明)

市民 課長 それでは、同じく21款6項6目雑入、1、総務雑入である。説明欄1、コミュニティ助成自治総合センター交付金である。新規で830万円の計上である。これは、一般財団法人自治総合センターに申請をしていたコミュニティ助成事業の助成金交付決定が令和4年3月24日付で県からあったことから今回計上したものである。内訳としては、一般コミュニティ助成4件分のものである。以上だ。

歳入

第15款 国庫支出金

(質疑)

富樫 雅男 1つ教えてください。先ほど3歳児の弱視検査の屈折計ということだったのだけれども、これはどこに設置されるのか。置かれるところは。

保健医療課長 この検査機器なのだけれども、持ち運びが可能な機械となっているので、健診会場にその都度持って行って実施する。

第16款 県支出金

(質疑)

(「なし」と呼ぶ者あり)

第21款 諸収入

(質疑)

富樫 雅男 すみません、1つ教えてください。コミュニティ助成なのだけれども、ある荒川のほうのコミュニティセンターの床の張り替えとかやろうとしているのだけれども、少し延び延びになっていたら工事費が2倍近くになっているのだけれども、それは何か市のほうで支援していただけるのかという話もあるのだけれども、いかがだろう。

市民 課長 今回計上しているコミュニティ助成事業については、国の自治総合宝くじを財源としてやっているものであって、当初申請から変更があって減額の場合は、それは可能なのだが、増額というのは認められていないので、経費の増嵩等々があった場合においても増嵩は認められないというようなものになっているので、その部分においては変更はないものである。別の部分で集会施設等の整備事業というのは市の単独の事業であるけれども、その部分との使い分けとか、そういうことが可能なのかどうかというのは内容によって変わってくるというふうな形になろうかと思うし、基本的には併用ができない部分も多くあるので、それはそちらの状況に応じてまたご相談いただくというようなことになろうかと思う。

歳出

第2款 総務費

(説明)

市民 課長

それでは、12P、13Pお願いいたす。2款1項13目地域活性化推進費、1、協働のまちづくり推進事業経費であるが、こちらのほうについても、先ほど歳入で説明いたした令和4年度コミュニティ助成事業の助成金交付決定があったので、それに伴って事業実施団体等へ交付するための補助金を同額計上したものである。以上だ。

第3款 民生費

(説明)

福祉 課長

それでは、3款1項1目社会福祉総務費、説明欄の1、新型コロナウイルス感染症緊急対策経費567万1,000円の増額であるが、令和4年度の1号補正において、新型コロナウイルス陽性者で自宅療養している方の食料支援ということで計上させていただいた。3月末から5月の連休にかけて非常に大勢の自宅療養者が発生したため、既に1号補正で見込んだ人数を超えてしまった。その関係で、7月以降の人数について増額したものである。今回の対象人数は1,000人を想定している。以上だ。

こども課長

それでは次、3款2項5目児童福祉施設費、説明欄1、屋内遊び場経費の工事請負費616万円であるが、4月1日にオープンいたした屋内遊び場、旧神納東小学校の体育館を利用しているわけだが、この建物の屋根、全体的には瓦ぶきなのだけれども、ひさしの部分だけ鋼板ぶきになっている。この部分が経年劣化、さびなどによって一部雨漏りなどもちょっと見られるようになった。それで、ひどくなる前に、せっかくオープンした遊び場なので、ふき替えをさせていただきたいと思って、616万円の工事請負費をこのたび計上させていただいた。よろしくお願いいたす。

第4款 衛生費

(説明)

保健医療課長

4款1項2目予防費、説明欄1、予防業務経費113万7,000円だが、予防接種の子宮頸がんワクチンが今年度から積極的勧奨に位置づけられたことに対する経費として計上いたした。主なものとしては任意予防接種助成金96万4,000円は、平成25年6月から積極的勧奨を差し控えたことにより接種する機会を逃した方がその間自費で接種していた場合、その接種の費用を支給するものだ。続いて、説明欄2、新型コロナウイルスワクチン接種事業経費8,315万9,000円だが、4回目のワクチン接種に係る経費を追加し、計上いたした。主なものとしてコールセンター業務に係る労働者派遣手数料668万1,000円や個別接種の委託料6,000万円だ。続いて、14P、15Pを御覧ください。説明欄3、新型コロナウイルス感染症緊急対策経費1,550万円だが、保育園や小・中学校などで行う市独自のPCR検査手数料だ。令和3年度までは市が行う独自のPCR検査対象は、保育園や小・中学校が主な対象だった。しかし、県が今まで実施していた通所系の高齢者施設のPCR検査が4月以降は実施しなくなったことでPCR検査対象施設が増えたことや、4月には保育園での検査数が想定以上であったことから、今後の検査数を見直し、不足分を計上した。現在、感染状況は落ち着いているが、冬場にはまた感染する可能性が考えられるので、それに備えたいと考えている。続いて、説明欄4、母子保健経費132万円だが、3歳児健康診査の視覚検査で使用する屈折検査機器購入費を計上いたした。以上だ。

歳出

第2款 総務費

(質 疑)

- 鈴木 好彦 コミュニティ助成補助金、これ先ほど歳入の部分で4件ぐらいあるというふうにお聞きしたのだけれども、すまないが、その4件の仕向け先と内容について、もし分かるようであればそれぞれお答えいただけるだろうか。
- 市民 課長 今年度採択となった4件の内容だが、荒川地区の切田区については太鼓、それから神楽幕とお祭りに関する備品等の整備である。それから、朝日地区の十川区、こちらについては集会施設のエアコン、テレビ等の施設備品の整備経費である。それから、神林地区の山屋区、こちらについては除雪機、それから集会施設に設置する冷蔵庫等備品の整備費である。それから、もう一つが村上地区の瀬波浜町町内会、こちらについては、しゃぎり屋台の乗せ物の整備というようなことで採択を受けている。以上だ。
- 菅井 晋一 すみません。同じところであるが、4件該当になったということなのだが、申込みしたのは何件だっただろうか。
- 市民 課長 今回申請があったのが全部で13件申請があって、採択になったのが4件ということである。

第3款 民生費

(質 疑)

- 富樫 雅男 屋内遊び場の経費だけれども、4月1日から5月20日までか、市民の方のアンケート、これ8ページもわたって物すごくいっぱい出てきているのだけれども、今回の補正予算については屋根の修理ということなのだけれども、今後こういう要望に対してはどのようなスケジュールで、または内容で検討を進めるのか教えていただければありがたいのだけれども。
- こども課長 たくさんのアンケート、ご意見いただいたものである。本当に反響が大きいなと思っている。中で一部、例えばトイレなどの要望も結構あったのだが、これについては現在もう手がけていて、そういうことでご要望はあったのだが、実際やっているものもある。あと遊具のもう少し種類を増やしてほしいとか、いろんな要望があった。こちらについては、なるべく可能な限りご要望をかなえていきたいということで、単年度で対応できるかどうかというものもあるけれども、予算の関係もある。ただ、こちらといたしては計画的に実施に向けて取り組んでいきたいというふうに思っている。
- 富樫 雅男 それでは、1つだけ、私も直接も言われているのだけれども、ランチルーム、何とか使えるようにできないかという話なのだ。こちら辺はまだ具体化されていないか。
- こども課長 校舎棟のほうの利用、活用については、今年度、基本計画というものをつくって、大体こういうふうな形で取り組んでいきたいという予定にしている。ランチルーム、一番広くて手前であって、使い勝手のいい場所かなというところである。全体的に子育て支援施設という形での利用を考えたときに、どこまで遊ぶという形の場所に回せるか、そういったことを検討しなければならない。ほかのいろんな施設もあるので、その中でご要望がかなうこともあるし、残念ながらかなわないこともあるかと思う。その辺については、今年度計画を立てるというスケジュールになっている。
- 鈴木 好彦 要望が多いということは、それだけ市民の期待度が高いということだと思うので、

ぜひ市民の要望を満たしていったって、理想的な施設にしていったっていただきたいと思うのだが、質問は、先ほどの工事、屋根のひさし部分のトタン化、これ工期的にはどのくらいを予定しているのだろうか。

こども課長
鈴木 好彦

3か月ほど予定する。
ありがとうございます。子どもたちの出入りするところだけでも、工事のときには、ほかの工事もそうだろうけれども、十分子どもたちの行動、挙動に注意しながら工事を進めていただくようお願いいたします。以上だ。

こども課長

了解いたしました。

第4款 衛生費

(質 疑)

鈴木 好彦

PCR検査手数料が追加でこのように予算化されているけれども、PCR検査というのは個人情報に関することでなかなか見えてこないのお伺いするけれども、この金額というのは何回分ぐらいを大体想定している金額なのかちょっと教えていただけるだろうか。

保健医療課長

PCR検査の回数だけでも、当初予算では1,100回分を見込んでいた。しかし、4月の実績から、追加で1,760回分を見込んでいる。

鈴木 好彦

ありがとうございます。続いて、機械購入費なのだけれども、これは1台ということではよろしいだろうか。

保健医療課長

1台だ。

木村 貞雄

委員会になると、財源のほうだけれども、財政課長いないので、ちょっと分かりづらと思うのだけれども、分からなければ分からないでいいのだけれども、12P、13Pの関係で、予防費の特定財源、国庫支出金の9,931万9,000円の内訳というのは、歳入のほうから見ての内訳分かるか。

健康支援室長

この国庫支出金9,931万9,000円については、8P、9Pの15款1項2目の衛生費国庫負担金4,637万2,000円と15款2項3目、衛生費国庫補助金の3,744万7,000円を足して、そこに、その上、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金2,110万円のうち1,550万円を充当していることから、足し算をして、このようになる。

鈴木 一之

今のところだが、新型コロナウイルスワクチンの接種事業経費の中であるのだが、先般もこうやって接種についてとって各戸に配布されているのだが、なかなかその中で、3回目の接種もままならないというような状況もあったり、また小児の接種についてもなかなかそこまで、これは親御さん等々にご理解いただきながら進めていかなければならないのかなと思っているのだが、現状とそこからの、これからのどう対応すべきか、こういうようなので案内はするのだが、もうちょっとそこは踏み込んだ形の中で、接種にご協力いただくなりというような、そういう方向性というのを聞かせていただければと思う。

保健医療課長

小児の接種については、接種券が欲しいということで希望された方で、まだ予約をされていない方がいらっしゃるのので、その方に再度お手紙を差し上げて、接種の予約をお勧めというか、声かけをさせていただいたりとかして、また接種の予約をちょっと考えてもらうような機会を設定している。あと、4回目接種等については、また今後予約状況等を見ながら判断していきたいと思っている。

鈴木 一之

やっぱり親御さんたちがいろんな情報を受けた中で、なかなかそのところに踏み込まれないという状態もあるのだが、そういうことで正しい知識とか、そういうこ

とも含めて、引き続きその点を含めて完全接種になっていければと思っているので、よろしく願いいたす。あと、もう一点なのだが、第4回目の接種に当たって、一応60歳以上、また18歳以上で基礎疾患を有する人ということであるのだが、どうしてもその中で高齢者の方々はそれぞれの案内で参るけれども、施設関連とか、そしてまた医療介護等の従事者もその中に、今後その人たちもやっぱり接種の対象とするような方向性で検討しながら実施されることも1つではないかなと思っているのだが、国の方針等々も鑑みて、村上市としてもその点も含めてどういった考え方があろうかと思うが、お聞かせください。

保健医療課課長補佐 今おっしゃられたことについては、今回対象から外れた59歳以下、18歳以上の方については、感染予防効果が4回目打っても9週間で22%程度まで低下するというようなところがイスラエルの状況によって判明したということが大きな理由によって、基礎疾患を持っていらっしゃる方々に限定されたという状況がある。その方々については重症化予防効果は引き続き継続しているというようなところがあるようで、3回目打った時点で、それで対象になっていないと。ただ、高齢者、60歳以上の方々については、重症化予防効果が低下していく状況があるものだから、そこを補うために4回目を接種を行うということになったようだ。先日、私たちからも全国の市長会への要望ということで、全国市長会から国へ要望を上げさせていただく機会があったものだから、その中で今副委員長おっしゃられたような、そうした感染するリスクが高いような職場におられる方については接種対象を広げてくださいというようなことで村上市からも要望を上げさせていただいていて、今後国の状況を見定めて、対象になったら速やかに接種していきたいと考えている。

鈴木 一之 その点よろしく願いいたしたいと思う。そして、もう一点だが、やはりなかなか私どものところにモデルナとファイザーということで、またそんなことの希望云々というような格好で案内もあったが、厳密に言って本当にどっちがどっちなのかなんて思う点もあって、ちょっとそこで迷うところがあって、どっちにすればいいのかなということであるのだが、その点も、対象者に対しては何らかの形もあっていいのかなと思っているのだが、その点はどうでしょうか。

保健医療課課長補佐 ワクチンの副反応については個人差があるので、なかなかこういった傾向だよというのもお伝えしづらい面がある。なので、国からもそれほど大差ないよというようなことを聞いていたので、そのような全国的な、統一的な考え方で4回目についても周知させていただきたいなというふうに考えている。

(自由討議)

(「なし」と呼ぶ者あり)

(賛否態度の発言)

(「なし」と呼ぶ者あり)

以上で質疑を終結し、自由討議を求めたが自由討議なく、賛否態度の発言を求めたところ賛否態度の発言なく、起立による賛否態度の取りまとめを行った結果、議第77号のうち市民厚生分科会所管分は、起立全員にて原案のとおり可決すべきものと態度を決定した。

○以上で本分科会に付託された案件の審査を終了し、本分科会の報告を分科会長に一任することを

決め、閉会する。

分科会長（長谷川 孝君）閉会を宣する。
（午前11時13分）